

様式1

環境美化教育優良校等推薦書

2022年 月 日

公益社団法人食品容器環境美化協会

会長 鳥越 康博 様

都道府県名	
推薦機関名	
代表者名	印

標題受賞候補として下記のとおり推薦いたします。

記

(ふりがな) 学校名又は団体名	あきたけんたいせんしりつおおまがりみなみちゅうがっこう 秋田県大仙市立大曲南中学校	
(ふりがな) 学校長又は団体の 代表者の氏名	しまだ さとる 島田 智	
(ふりがな) 学校又は団体の 所在地	〒014-1412 秋田県大仙市藤木字上野中70-2 ・TEL: 0187-65-2001 ・ホームページアドレス: http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~om-minamityu/ ・学校メールアドレス: om-minamityu@edu.city.daisen.akita.jp	
学校の児童生徒数 又は団体の会員数	71	
記入 担当者	所属部課	
	氏名	後藤 高仁
	電話・FAX	TEL: 0187-65-2001 FAX: 0187-65-2051
	住所	〒014-1412 秋田県大仙市藤木字上野中70-2

様式 2 (散乱防止活動用-1)

推薦理由書

学校名又は団体名 秋田県大仙市立大曲南中学校

項 目	活動内容等
<p>1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由</p>	<p>本校は、平成 22 年度に県内唯一のユネスコスクールに認定され、「考え、行動する環境教育」に取り組んできた。その中で、近隣の小学校、高等学校、地域社会、関係機関、更には地域外の中学校との「交流と連携」を充実させながら、E S D の視点を取り入れた教育活動を展開している。平成 27 年度から、大学や海外のユネスコスクール等との交流にも取り組み、更なる深化・充実を図っているところである。また、各学年における総合的な学習の時間の柱として、「食育」「エネルギー教育」「国際教育」を位置付け、体験を通じた思考力・判断力・表現力等の育成を重点とした「社会的実践力」を育むことで、「生きる力」の育成に資することを目指している。</p> <p>本校では、E S D の目的を「持続可能な社会に向けた人づくり」と捉え、具体的な取組として E S D を進めるには、教科間、教員間の連携が大前提であると捉えている。教育活動全体を通して E S D の視点に立った問題解決的な学習を展開し、「人」「教材」「能力・態度」のつながりを意識した指導の工夫を図り、持続可能な社会の形成者としてふさわしい「資質・能力」をもった生徒を育成することをねらいとしている。そこで、「E S D を学校全体で体系的に推進するための教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する研究」を主題として取り組んでいる。本校では、E S D を推進する上で、長年取り組んできた、地域と連携した環境美化活動や環境保全活動がベースになっている。それらの活動や学習を継続的に実践しつつ、年々深化させていることや、生徒が活動を通して大きな変容を見せていることが推薦の理由である。</p>

様式 2 (散乱防止活動用-2)

項 目	活動内容等
<p>2 受賞候補校等の活動状況等</p> <p>(1) 活動の動機・頻度</p> <p>① 活動を始めた動機及び開始年月</p>	<p>環境美化関わる活動として、次の活動を実施している。</p> <p>ア 講演会の実施 (平成 22 年度から)</p> <p>環境問題を演題とした講演会を実施し、世界の環境を知る (Think Globally) ことで自分の行動変容 (Act Locally) につなげた。</p> <p>○主な講演講師と演題</p> <p>平成 22 年 松本 英揮 氏 「地球環境から親父の子育て」</p> <p>平成 23 年 松本 紀生 氏 「アラスカフォトライブ」</p> <p>平成 24 年 藤原 幸一 氏 「地球の声が聞こえる」</p> <p>平成 25 年 中村 征夫 氏 「命めぐる海からのメッセージ」</p> <p>令和 3 年度は、藤原幸一氏に再度依頼し、世界のプラスチックゴミの現状について講演してもらった。講演会を機に、自分たちは何ができるのかを考え、美化活動へとつなげていった。</p> <p>イ ワールド・気候スタディーズ ESD/SDGs (令和 4 年度)</p> <p>日本キリバス協会のケンタロ・オノ氏を講師に迎え、気候変動下等におけるキリバスの現状を伝えてもらい、自分たちはキリバスに対して何ができるのかを、ペルソナワークで考えた。その後、キリバスの海とつながっている本校周辺の川のクリーンアップを行い、キリバスの中学生とのオンライン交流を行った。</p> <p>ウ 親水公園クリーンアップ (20 年以上前から)</p> <p>毎年、地域の方々と一緒に、学校近くの親水公園のクリーンアップ活動を実施している。コロナ前は、鮎や蟹汁の試食も行われ、地域とのコミュニケーションを深めることができた。</p> <p>エ 小・中合同クリーンアップ (20 年以上前から)</p> <p>学区の 2 小学校と連携し、縦割り活動のクリーンアップ活動を行っている。主な活動は、道路端のごみ拾いで、中学生は事前に小学校に赴き、当日の段取りを確認している。毎年、多くのごみを回収し、地域の環境美化に貢献している。</p>

様式 2 (散乱防止活動用-3)

項 目	活動内容等
	<p>オ 地産地消の野菜栽培 (平成 23 年から) 学校給食センターの残飯由来の肥料を使って、J Aの協力の下、野菜栽培を行っている。収穫した野菜は、講師を招いて省エネクッキングで調理して試食した。また、平成 28 年からは、これらの活動から食品ロスに興味をもった生徒たちが、近隣のスーパーの食品ロス防止の状況を調べたり、フードバンクに食品を持ち込んで相対的貧困について学んだりした。</p> <p>カ アルミ缶・古紙回収 (20 年以上前から) P T Aの事業であるが、事前に学区内の全ての家庭にチラシを配り、地域全体から、中学生と保護者が協力してアルミ缶と古紙を回収した。その収益は、学校祭を運営する資金の一部とした。</p>
② 活動の愛称名	なし
③ 月間又は年間活動回数	<p>ア：年 1～3 回 イ：年 1 回 ウ，エ：基本的に年 1 回だが、ここ 3 年間は新型コロナウイルスの影響で中止となった。 オ：年 1 回 カ：年 1 回 ア～オは、本校の E S D カレンダーに位置付けられ、教育課程の中で実施されている。</p>
④ 活動のエリア	大曲南中学校の学区内及び、大仙市内、秋田市内等
⑤ 活動 1 回当たりの平均参加者数	<p>ア：全校生徒 イ：講演は全校生徒，交流は 3 年生全員 ウ：全校生徒 エ：全校生徒 カ：1 年生全員</p>
⑥ 活動 1 回当たりの平均時間	<p>ア：2 時間 イ：講演とワークショップで 2 時間，交流は 2 時間 ウ：3 時間 エ：1 時間 オ：総合的な学習の時間の単元の中で行う (20 時間) カ：3 時間</p>
⑦ 収集ごみの処分	なし

様式 2 (散乱防止活動用-4)

項 目	活動内容等
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>ア 環境分野で世界的に活躍する講師を招聘し、世界の現状を伝えてもらうことで、持続可能な開発の必要性やSDGs達成の意義を、具体的に知ることができる。同時に、自分たちができることは何なのかを考え、実践につなげることができる。</p> <p>イ 本活動は、東北地方ESD活動支援センターのプログラムを、本校で実施したものである。講演だけで終わらずに、講演の内容を生かしたワークショップを行うことで、キリバスで起きていることを自分事として捉えることができる。さらに、実際にオンライン交流を行うことで、気候変動等の問題は、世界全体で取り組むべき課題であることを実感することができる。</p> <p>ウ 地域の方々と協力して、学区内にある親水公園のクリーンアップを年1回行っている。20年以上続いている活動であるが、近年はPTA活動ともタイアップし、全校生徒と保護者が関わることができるよう日程調整している。過去には年に複数回行われたこともあり、終了後に地域の方々と一緒に、鮎の塩焼きや蟹汁(川蟹)の試食を楽しんだこともあった。</p> <p>エ 夏休みの初日、朝6時30分から地区ごとにラジオ体操を行い、その後、ごみ拾いや地域の集会所の清掃などを行っている。中学生がリードし、小学生と一緒にを行う、小・中連携した活動である。時には地域の方々が協力してくださる場面が見られることもある。</p> <p>オ 給食由来の有機肥料を使った野菜栽培をだけではなく、地産地消や食とエネルギーの関係、フードロス、貧困問題等、SDGsの多くの目標に関連した活動を行っている。大曲農業高等学校の博士号教員から有機肥料と微生物についての講話をいただいたり、省エネクッキングの講師を招いたり、多くの方々とつながることができる活動である。</p> <p>カ 常時活動として、1年中アルミ缶回収は行っているが、夏休み中の土曜日に、地域全体に呼びかけ、地域の方々にも協力いただいて、集中的にアルミ缶・古紙回収を行っている。今年度は103,970円の収益があった。</p>

様式2 (散乱防止活動用-5)

項 目	活動内容等
<p>(3) 地域への貢献度 ①地域の環境美化への貢献</p>	<p>アとイ 「Think Globally, Act Locally」の精神の下、学んだことから自分は何ができるのかを考えるなどの意識変容につながり、さらに、家庭でできることや地域でできることに主体的に取り組む行動変容につながっている。</p> <p>ウ 地域の方々と共に活動することで、中学生が地域の環境を整えることに一役買っている。また、コミュニケーションを深めることで、みんなで地域をもっときれいにしていこうという意識が高くなり、更なる環境美化活動につなげることもできる。</p> <p>エ 地域がきれいになるだけではなく、小学生と一緒に活動をすることで、環境美化に対する一体感が生まれ、自分の住む地域の環境をよりよいものにしていこうとする意欲の高まりが見られる。</p> <p>オ 地域の主産業である農業への理解が高まるとともに、地産地消や残さず食べることの大切さを実感できる。そのことが地域愛へつながり、地域の環境美化意識の高まりになる。</p> <p>カ 中学生がリサイクルに取り組んでいるという事実が、家庭や地域に好印象を与え、リサイクルが全地域に広がっている。地域全体でリサイクルに取り組むことで、地域だけではなく世界の環境美化につながっている。</p>
<p>②地域住民との協力活動</p>	<p>特に地域住民との協力関係が深いのは、ウ、エの活動である。ウについては実行委員会が主導して行われるが、高齢化が進む本地域にあって中学生の力は大きい。オについては、JA秋田おぼこの職員の協力を得ながら活動を行っている。</p>
<p>③児童・生徒の活動に対する地域住民の反応</p>	<p>本地域の住民の本校の活動に対する協力体制は、非常に好意的である。また、地域で中学生が活動することで、地域活性化にもつながっている。さらに、アやイの活動は、新聞等にも取り上げられたため、地域住民の関心は高い。生徒たちも地域住民に対してよくあいさつをし、地域とのよいコミュニケーションを築いているので、地域の方々も生徒の活動に大変注目している。</p>

様式2（散乱防止活動用-6）

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	本活動は、本校の教育課程に位置づけられ、全て環境教育の一環として行われている。総合的な学習の時間を中心として、各教科等とのつながりを示したESDカレンダーを作成し、どのような資質・能力を身に付けさせたいのかを明確にして取り組んでいる。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	活動後の生徒の振り返りには、活動自体の楽しさや充実感だけではなく、今後自分はどうのように行動していくべきなのか、社会はどうのように変化すべきかなどといった前向きな意見が見受けられた。活動により、環境美化や地球環境に対する意識の向上と行動変容が見られた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ABS秋田放送アナウンサーによるSDGs講座 ・朝日SDGsジャーナルを活用したワークショップ ・気候変動適応ミステリー授業 ・ワールドピースゲーム ・風力・太陽光発電所見学 ・エコハウスについての出前授業 ・エコタウン構想のためのワークショップ ・東北電力出前授業 <p style="text-align: right;">等</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止活動環境大臣賞環境教育・普及啓発部門（平成23年12月14日 環境大臣）
(6) 校内外活動のための時間の作り方	総合的な学習の時間のカリキュラムに組み込み、各教科等との連携を図って実施している。
3 その他特記事項	なし

資料1 (講演会の新聞記事、写真)

生き物写真家の藤原さん
**プラごみ対策は
 できることから**

大曲南中で講演会

生き物写真家で作家の藤原一幸さんの講演会が、大曲市藤木の太曲南中学校体育館で行われた。「プラスチック感星・地球」と題し、プラスチックごみが動物や地球環境に与える影響について語った。藤原さんは秋田市出身。野生動物の生態に視点を置いた写真や動画を撮るため世界中を訪れている。動物をテーマにしたテレビ番組の監修や、学習院女子大学(東京)で環境問題の講師を務めるなど、幅広く活動している。

8日の講演会には、全校生徒と保護者計約140人が参加。藤原さんは、自身で撮影した映像を基に、プラスチック



プラスチックごみが野生動物の命を奪う危険があると説明した。スリランカでアジアゾウが森の中に捨てられたビニール袋を食べて命を落とし、豪州スマニア州で漁業用のプラスチック網が絡まったオットセイが溺死している現状を紹介。「自分の生活にどのようなプラスチック製品が使われているかを見直して、自然素材の物を選ぶ、再利用できる物を使うなど、自分にできることからごみ対策をやってみてほしい」と呼び掛けた。

講演を聞いた大川美緒さん(2年)は「世界中にプラスチックがあふれていることが分かる。できるだけごみが出ないような生活を心掛けたい」と話した。

講演会は、大曲南中PTAの事業として実施した。(佐藤和輝)

令和3年12月19日(日)
 秋田魁新報



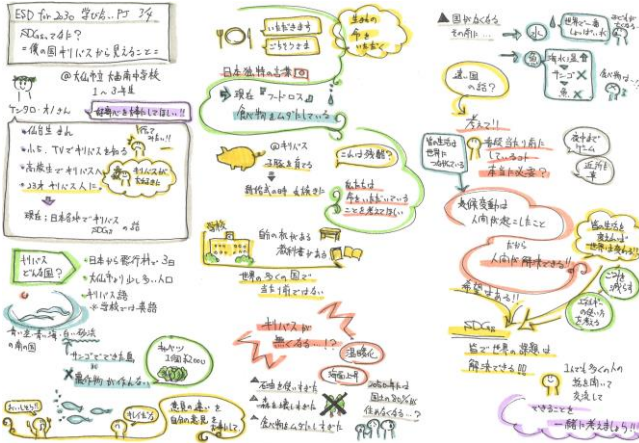
平成 25 年 11 月 29 日 (中村征夫氏)

資料2 (ワールド・気候スタディーズESD/SDGs)

ケンタロ・オノさん講演会

&SDGsワークショップ

(写真とグラフィックレコーディング)



資料3（親水公園クリーンアップと、小中・合同クリーンアップ）



資料4 (有機野菜栽培とアルミ缶・古紙回収)



J A の指導



野菜の苗植え



ゴーヤの緑のカーテン



省エネクッキング講座



スーパーで食品ロス調査



フードバンク訪問



地域の方からの回収依頼



集まったアルミ缶と古紙

資料5 (ESDカレンダー)

本校では、各活動を教育課程に位置づけている。

小学校・中学校の「環境」を柱とした内容の系統(生活科・総合的な学習の時間、特別活動)

平成25年度
 ○内容のつながり
 ●人のつながり

学年	生活科・総合的な学習の時間	特別活動(児童会・生徒会活動、学級行事)
1年	身近な自然を大切にしよう 自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
2年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
3年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
4年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
5年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
6年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
1年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
2年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習
3年	自然の恵みを受けよう 自然の恵みを守ろう 自然の恵みを生かそう	入会式 新入生歓迎会 運動会 文化祭 遠足 校外学習

令和3年度 大曲南中学校 ESDカレンダー(1年生)

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	わがやみやぢ(国語)しよう	A ダイコン(大根)の性質	「好きなもの」を	A シカの事(鹿)	調べたことを朝礼しよう	A 灯の影は生きていた	読書や方向を	読書や方向を	読書や方向を	読書や方向を	読書や方向を	読書や方向を
社会	世界と日本の表	C 世界のさまざまな地域	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々	C 世界の国々
数学	算数から数学へ、正負の数	文字と式	方程式	比と反比例	平面図形	立体図形	データの分析と活用					
理科	B 身のまわりの物質 物質の性質 気体の性質 液体の性質	A いろいろな生物とその共通点 動物のつらばい 葉と光合成 植物の分類・動物の分類	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境	身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境 身のまわりの環境
外国語	自己紹介や身の周りの物の紹介	A 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化	C 世界の文化
音楽	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう	新しい仲間とのびのび歌おう
美術	国文学のデザイン	さまざまなテクニク	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り	動物作り
保健体育	C スポーツの楽しみとルール	バレーボール	C スポーツへの参加の楽しみ	現代的なリズムのダンス	C 剣道	A 健康な生活と病気の予防						
技術	材料と加工に関する技術											
家庭	私たちの成長と家族・地域	A 私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活	私たちの食生活
総合的な学習の時間	A 食と環境、環境と人とのかわり ○有機肥料で野菜栽培 ○畜産物の働きって何？ ○湿地地帯消しと省エネタッキング ○食ロスを考える ・食量はどこから？どこへ？ ・誰一人取り残さない！フードバンクとは 職業調べ 身近な人の職業について調べよう											
特別活動	中学校生活をほしめよう	中学校では何を学ぶのか？	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう	中学校生活をほしめよう
道徳	「あなたが生まれた日」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう	「おはよう」おはよう
A: 食育 B: エネルギー教育 C: 国際教育 身に付けた能力・態度 コミュニケーションの能力 批判的に考える力 多面的・総合的に考える力												